

ユニセフ・ネパール・スタディツアーレポートのつどい

とき 4月27日（金）10:30～12:30

ところ 仙台市青年文化センター 研修室2

主催 みやぎ生協、宮城県ユニセフ協会

プログラム

- ◆ あいさつ・・・ みやぎ生協 沼倉優子副理事長
- ◆ ユニセフってなあに・・・
世界の子どもたちの様子と、ユニセフの活動を紹介します
ビデオ「ユニセフと地球のともだち」
- ◆ スタディツアーレポート・・・
報告者 みやぎ生協 地域代表理事 千葉博恵
宮城県ユニセフ協会ボランティア 千葉きえ子
- ◆ ネパールお国自慢・・・
お客様 アルンさん



世界でただ一つ四角形でない国旗。三角はヒマラヤ山脈をイメージしています

※ マサラティとラプシキャンディの試食

みやぎ生協は、2005年より北海道・東北の生協と協同して、ユニセフの「ネパール・地域主体地の女性と子どものためのプログラム」の指定募金に取り組んでおり、毎年390万円の募金に協力しています。プログラム開始前の2004年度にはネパールの現状を視察するために、地域担当理事が参加しました。2008年には途中経過を視察するために、宮城県ユニセフ協会清水専務理事が参加しました。その時に訪れることができなかったサプタリ郡を視察するために2012年2月18日～25日、スタディツアーレポートが実施され、参加しました。支援のプログラムでどのような成果が達成されているかを実際に見ることができました。その様子をみなさまにお伝えします。

ユニセフネパールスタディーツアー報告書

「地域主体の女性と子どもたちのためのプログラム（D C A W）】

～ 現地視察を終えて～

宮城県ユニセフ協会ボランティア 千葉 きえ子

スタディーツアーの目的

ネパールでは北海道と東北と九州の生協が共同支援を行っているユニセフの『地域主体の子どもと女性のためのプログラム』(DACA W)の取り組みが行われています。スタディーツアーはプログラムが実施されている支援地域の実践状況や成果などを視察し、今後のユニセフの支援活動につなげていくためです。今回、プログラムが実施されているサブタリ郡を訪れ、村落や地域の委員会・クラブなどと交流を行い、具体的な取り組みや成果または課題などについて視察をしてきました。

視察期間 2012年1月18日（土）～2月26日（日）

ネパール



ネパールについて

面積は日本の3分の1。北はヒマラヤ山岳、南はタライ平原が広がり、その高低差8,000m。人口は2,933万人（2009年）。民族は100部族と90の言語。宗教はヒンドゥー教・仏教・イスラム教。

1950年鎖国をやめ、1960年から外国と交流を始めました。2008年にこれまでの王権体制から連邦民主共和制になりました。

現在のネパールの状況は ○0歳児死亡率 33人/1000人 ○発育不全(低体重39%低身長19%) ○妊産婦の死亡率 281人/10万人 ○出産届33% ○成人の識字率 58% ○改善された水源の水の利用率 80% ○適切な衛生施設の利用率 43% ○小学校の就学率(5~14才) 95%（ドロップアウト17%）です。かつては●乳児死亡率が世界2位 ●5歳未満児の死亡率 4人に1人 ●小学校の就学率は40%でしたが、ユニセフの『地域主体の子どもと女性のためのプログラム』の活動により乳幼児と妊産婦の

死亡率と小学校の就学率の改善に著しい成果がありました。(ユニセフネパール事務所での説明から)

『地域主体の子どもと女性のためのプログラム』 (DACA W)

子どもと女性を巡る重要な問題に対処するための地域中心のプログラムです。

目標は、家族、地域、地方行政組織、そのほか子どもの養育に関係ある人たちの能力開発を行い計画立案、プロジェクト運営、子どもと女性の状況をモニタリングができるようし、様々な活動をコーディネイトし、問題解決のための社会サービスなどを提供できるようにするものです。

ネパールの行政区分

国

↓

5つ開発地域

↓

75郡(郡開発委員会 DDC)

↓

村(村落開発委員会 VDC)

↓

ファシリテーター区(Ward) (村が9つに)

↓

村落(village)

↓ 推進員・ヘルスボランティア
地域組織(CO)

サプタリ郡

東部開発地域に位置します。人口は約658千人。世帯数は約101千世帯。サプタリ郡はカーストの差別が根強く残っており、農村では食料不足や貧困の問題があり、特に開発が遅れている地域です。社会的構造上や依存体質の理由のため是正が難しかったのですが、ユニセフのDACA Wが35のVDCで取り組まれることで、困難な立場にいる女性や子どもたちのための活動が可能になりました。

この取り組みにより①地域の子どもクラブ、女性連盟、パラリーガル委員会などの地域ネットワークの形成。②女性や子どもに関する保健衛生・教育・水と衛生分野の改善。(就学率90%・他のVDC 32%) ③ファシリテーターや推進員、子どもクラブのメンバーたちに能力開発の研修。④14のVDCで子どもの統計調査。⑤子どもに優しい地方自治に予算化。⑥出産センターを2か所から22か所に増設。(予防接種率95%に上昇)などの成果を見ることができました。

DACA Wはボトムアップ式の地方開発を行なっており、実施されていない地域との開発格差が顕著になっています。現在は子どもにやさしい地方自治(CFLG)として、国の仕組みに組み込まれ始めました。

ライフル村落開発委員会(VDC)

～子どもと女性の教育と衛生を～

☆ムシャハルのコミュニティー組織を訪問

☆早期幼児開発センターを訪問

☆バデスワリ小学校を訪問

この地域は低カーストが多く住んでおり、子どもと女性の教育と衛生に取り組んでいます。それぞれの地域では推進員を中心に戸のマッピングを作り、地域全体の状況を把握し情報を交換して改善しています。出生状況、予防注射、栄養状態、水やトイレの設置状況、就学状況などを把握し、改善が計れるようになりました。この地域ではユニセフの支援で就学前のこども(3歳~5歳)の早期幼児開発センター(ECD・幼稚園)を設置しています。親も教育を受けていないので、親にも必要な知識を広めていく役割も果たしています。ここで指導する教員の研修もユニセフが支援を行っています。

また、低カーストで土地を持っていないため、男性は外に働きに出ます。(インドにも出稼ぎに行く)

女性は日雇をしています。貯蓄という知識はなかったが、女性の会を作り、貯蓄をし、そこから必要な人に融資し、生活が改善されるようになりました。このように DACAW のプログラムは地域住民が自ら状況を把握し、積極的に係ってもらい改善していく方策をとっていることが伺えました。



早期幼児開発センター

(歌と踊りで歓迎してくれた)



バデスワリ小学校

(ユニセフの支援のトイレ
男女別に設置してある)



(低学年のクラス・英語教育も実施
教室が足りないので2部制も)

ナルゴ村落開発委員会(VDC)

～ 子どもの権利と女性の能力開発 ～

☆地方市民フォーラムを訪問 ☆非公式教育の授業を見学(GATE)

☆青少年グループを訪問(ジャマルコ)

☆村落開発委員会とパラリーガル委員会のメンバーとミーティング

このVDCはネパールの一番南に位置し、4番目に開発が遅れている地域です。

地区市民フォーラムでは地域からの問題を取り上げ共有し、VDCに要求し、改善を計っています。メンバーは地域代表や子どもクラブ代表・有識者・低カースト代表など25名で構成されています。

ここでの活動は取り残された子どもと女性の問題に取り組んでいます。○出生届の促進○国民証明発行の申請促進○子供の就学率アップ○非公式教育(GATE=地方の女子の教育へのアクセス)○女性の職業訓練○差別の問題などがあります。

この活動で女性たちはトイレのリングづくりを習得し、仕事とし、前よりも高額な収入を得るようになりました。また、ユニセフの支援で、村に集会所を女性のボランティアの手で建設しています。



非公式授業(GATE)の様子

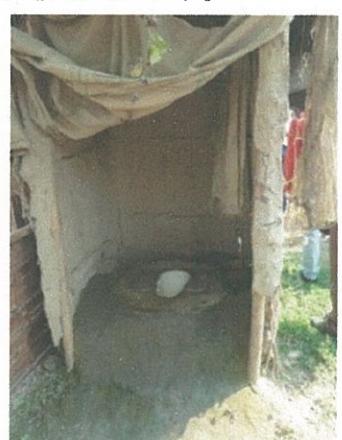
(10~18歳の女子)ネパール語、英語

算数の墓ライフスキルズも教わる)



トイレ用リング作り

(女性が作り、トイレも組み立てる)



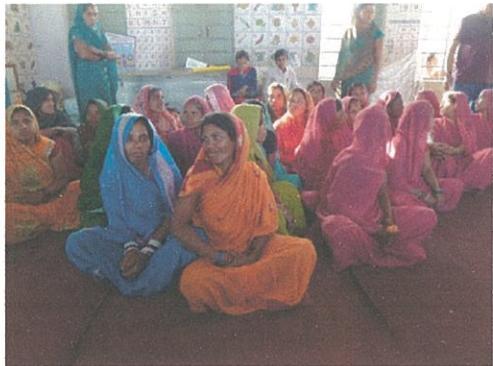
村のトイレ

さらにトイレの作り方の研修を受け、低カーストの全世帯にトイレを設置する予定です。

女性たちが知識を得ることにより、問題を共有化し、みんなで話し合えるようになりました。私たちへの説明も一生懸命していただき、自信を持っていることを感じ取れました。

☆青少年グループ(ジャマルコ) →

各地区から選出された青年たち(12~18歳)が活動しています。活動内容は○子どもの能力開発(権利・差別)○赤ちゃんのケアの研修○ポリオワクチンの普及のため家庭訪問○リーダー研修などです。また、男女差別や早婚問題の劇をつくり啓蒙活動しています。これらの研修のためユニセフが支援を行なっています。



← ☆パラリーガル委員会のメンバー

パラリーガル委員会では女性の問題(DV・重婚・レイプ・子供の出生)を女性たち自身で解決していく組織です。問題解決のため主張し解決にすることで、自信を持てるようになり、深くかぶっていたベールから顔をだすようになりました。

カンチャンプル村落開発委員(VDC)

～ 野外排泄禁止宣言(ODF)にむけて ～

☆カンチャンプルの女性連盟訪問

☆バマジヒヤ出産センターを訪問

ここではユニセフの衛生の改善支援により 1368 世帯全部にトイレが設置され、5年間の活動で『野外排泄禁止』(ODF) 宣言ができるようになりました。

この成果は子ども会の活動の成果が大きいと思えました。子ども会が各家の状況をモニタリングし、壁に ODF の絵を書き、衛生についてのミュージカルを作り、いろいろな場所で啓蒙活動を行います。その結果、親が子どもの話を聞くようになり、ODF につながりました。さらには子どもへの暴力や搾取も減少しました。このような子どもの活動にもユニセフの支援が行われています。

女性連盟は積立なども行い、女性の知識向上を計っています。また子どもと一緒に行政のため衛生活動をしています。子どもたちは大きくなったらエンジニアやファシリテーターになり地域のために役に立ちたいと目を輝かしていました。



← ミュージカル

(内容：人の排泄物から蠅と犬によって食物に細菌が感染され、腹痛をおこす)

町で見かけた絵 →



『乳児の死亡率と妊産婦の死亡率を改善する』ため出産センターが設置されました。助産師 3 名が 24 時間体制で妊婦検診・出産・新生児のケア、基礎保健サービスを提供しています。このセンターは 12 の村落の 5,500 人の地域住民が対象です。地域にいるヘルスボランティアは、自宅で出産しようとする低カーストの妊婦を説得し出産センターに連れて来ます。その結果、妊婦と新生児の死亡率が大きく改善されました。また、出産後は出生届を出すことを勧め、それによって、食料やヨード剤・子ども服・出

産手当などが支給されます。その結果、妊産婦の健康ばかりではなく、子どもの生存・教育の可能性につながっていきます。このセンターの設備はまだまだ十分とは言えませんが、彼女たちの姿にネパールの女性と子どもたちの未来へつながっていくものを確信しました。



出産センターの助産師
(赤ちゃんとお母さんの強い味方)



分娩室



ヘルスボランティア
(出生後の赤ちゃんの検診も行い
肺炎の予防をする)

ビラトラガル市

～『子どもにやさしい市』をめざして～

☆ユニセフのパートナー団体のネパール人権・環境フォーラム(フォーレン)事務室(NGO)を訪問
(労働児童クラブのメンバーと交流)

ビラトラガルはネパール第2の都市といわれ、発展を見せている都市です。その結果、貧しい地域から出稼ぎに来ている子どもたちが多く、未就学の原因になっています。

フォーレンは都市での労働児童に識字教育を行っています。子どもの仕事の都合に合わせ、1日2時間学び、2年間終了すると小学校へ編入できます。ここには、住み込みで働いている子・紛争で国内難民になった子、親に早婚を迫られた子、など様々な境遇の子どもたちがいます。識字教育は22の子どもクラブで実施され、ネットワークを作り、問題や情報を共有しながら活動をしています。

ビラトナガルは「子どもにやさしい市」宣言をするため、ガイドラインを作り、労働児童クラブの代表者も市の理事会に参加できるようにします。ここであった子どもたちはみんなイキイキとした目をしていました。「いろいろな境遇の子どもを知ることで自分の状況を客観的に見ることができた」と話してくれました。子どもたちは問題を共有し成長している姿を見ることができました。

このスタディツアード、いろいろな組織やグループがネットワークを作り問題を共有化し(子どもも青年も大人も)、立体的に検討・解決している様子を見て、ユニセフのプログラムのボトムアップによるものということが理解できました。また、ユニセフの支援がハード面だけでなくソフト面に重点を置き取り組んでいることが成功のカギにつながっていることを、子どもたちや女性たちの活動を直接知ることにより感じることができました。

ユニセフのこのプロムグラが成功したことにより、ネパール全土に、政府レベルでの『子供にやさしい地方自治』の取り組みに移行され始めています。生協の支援によるユニセフのDACAWEの成果がネパールの全域に見られることがそう遠くはない感じました。



労働児童子ども会のメンバー



折り紙で交流

女性と子どもの権利を守るための 10の戦略的目標とは？

- 1、質の高い基礎教育へのアクセスを高める。特に女子や不利な立場にあるグループを中心とする。
- 2、暴力、搾取、虐待から女性を子どもを守る。
- 3、母親の健康を高める。
- 4、乳幼児の死亡率を下げ、予防接種で防ぐことのできる病気の抑制管理を改善する。
- 5、栄養不足を削減するため、子どもと妊産婦へのケアを促進する。

संघीय लोकतान्त्रिक गणतन्त्र नेपाल

- 6、子どもの心理社会的、思考的発達を促進させる。
- 7、不適切な衛生と水の供給を原因とする病気を減らす。
- 8、HIV・AIDSへの認識を高める。
- 9、子どもと女性のために役立つ地方分権化を促進する。
- 10、コミュニティ・アクション・プロセス(CAP)の実施範囲と質を拡大し強化する

संघीय लोकतान्त्रिक गणतन्त्र नेपाल